

【共田質問2】森林経営管理制度を円滑に運営するに当たって、市町村が直面する課題をどのように予測しているか。また、その課題に対して、今後どのように対応していくのか。

【回答】昨年度、市町村の約9割以上で人員及び専門的な人材が不足しており、事務的負担の増加が懸念される状況にあるということが課題として明らかになったところであり、今年度から林務部内に森林経営管理支援センターを開設するとともに、各地の地域振興局には、担当の職員と専任の嘱託員を配置し、市町村担当者向けの研修会や森林GIS等の活用による事務の効率化のための支援を行っているところであります。

【共田質問3】森林の経営管理を安定的に進めるため、林業従事者の課題をどのように捉え、その課題をどのように解決していくのか。

【回答】主要要因としましては、給与水準が他産業に比べて低位にあることや、自然相手の不安定な雇用形態、労働災害の発生率の高さなどが挙げられます。県としては、長野県林業労働財団と連携して、都市部での就職説明会などの新規参入者の確保に取り組みとともに、林業従事者の生産性・安全性向上の

ための技術研修、事業体の給与・雇用条件の改善や安全確保に向けた経営改善への支援等の充実を図っております。

令和元年6月議会一般質問

消防団員に対する処遇改善について

【共田質問】消防団員の維持・確保には、団員の負担軽減や消防団の在り方を検討する前に、団員の処遇改善が何より重要であると考えるが、県内の団員の報酬状況について伺う。また、団員報酬の改善と消防団の充実支援についてどのように取り組むか伺う。

【回答】県としても、団員の処遇改善は重要と考えており、市町村に対し適切な報酬の支給を、引き続き働きかけてまいります。次に、消防団への支援ですが、消防団活動に協力する消防団協力事業所に対し、消防団応援減税、入札参加資格での優遇措置、などの支援を行っております。

令和元年6月議会一般質問

(株)LDH JAPANの包括提携について

【共田質問1】県は(株)LDH JAPANと包括提携協定を締結し、具体的な取組としては、中学校でのダンス授業に係る新たな教材作りなど4点で覚書を交わした。県教育委員会がダンス授業の映像教材の制作に協働で

取り組むこととした背景及びねらい、また今後のスケジュールについて伺いたい。

【回答】多くの教員が「自分自身に技能や知識がない」「評価の方法が難しい」など、指導に課題を感じており、生徒も個々の表現力を十分発揮できていないのが現状であります。ダンス授業の改善に強い意欲を持つLDH社の関係者との意見交換の中で、教員が自信をもって授業を行うことができ、生徒も楽しくダンスを踊ることで自己表現力を高められる、新しい映像教材を制作し、来年度中には完成させ、令和3年度以降、導入を検討していきたいと考えております。

【共田質問2】アニメ映画「君の名は。」が上映された際には、登場する湖のモデルが諏訪湖ではないかとの噂が流れ、県内外から数多くのファンが諏訪地域を訪れた。観光振興に大きな力を発揮すると思われるフィルムコミッションについて、(株)LDH JAPANとの連携により今後どのような展開を考えているか。

【回答】有名人が出演する作品は誘客効果がより大きく、撮影スポットを巡る人が多く見受けられ、さらには、SNSにより地域情報が紹介され、地域の賑わいや観光誘客につながっております。今後、所属アーティストの

出演も含めた映画やミュージックビデオの制作等に信州フィルムコミッションネットワークが関わり、その作品が上映、放送されることで長野県の魅力が広く発信され、ロケ地域への集客や、地域の活性化につながるものと考えております。

【共田質問3】今回の協定は地域活性化に取り組み市町村にとっても、EXILEをはじめとするトップアーティストの協力を得て自分の地域を元氣にしたい、全国に発信していきたいの思いから大きな期待が寄せられているが、協定を踏まえて県内市町村とのつながりについて県としてどう進めていくのか。

【回答】希望される市町村等がある場合には、まず、窓口であります私共営業局にご相談いただき、双方が連携し協働するよう、協定の趣旨に沿って、目的や効果、双方のスケジュール、経費負担など十分に詰めて、可能な限りおつなぎしてまいります。

【共田質問4】国内外に大きな発信力を持つトップアーティストと組むことによるイメージアップを含め、県外さらには海外に向けて県としてのブランド力を発信していくことは、これからの県の営業のためにも一層の強化が必要と考え、ブランド力を強化するため、どのような観点から取り組むか。

【回答】「健康長寿」「勤勉で教育熱心な県民性」「自然の美しさ・環境との共生」といった「しあわせ信州」を構成する要素にしっかりと光をあてて、県民の皆さんをはじめ多くの皆さんと共に「信州のしあわせ」を力強く発信するとともに、県外・海外からの期待に応えられるよう、本県の商品やサービスのみならず、暮らしやまちづくりにも磨きをかけて一層のブランド力の向上を進めてまいります。

令和元年6月議会一般質問

県職員の会合飲食費の負担の在り方について

【共田質問】県職員の会合飲食費の公費負担のルールづくりについては、昨年11月定例会会において、「公費の厳格な執行を念頭に検討を進めていく」との答弁があったところだが、他県における公費負担の状況について、また、現在の検討の方向性について伺いたい。

【回答】(こ)りまの回答のあった45団体中、すべての団体で何らかの公費負担を行っている状況であります。働き方改革等の観点から考えますと、会合自体のあり方も、できるだけ平日の勤務時間内に飲酒を伴わない会合として開催するなどの工夫が必要であると考へます。今後、県民の皆様のご意見を広くお伺いした上で、最終的な判断を行いたいと考えております。